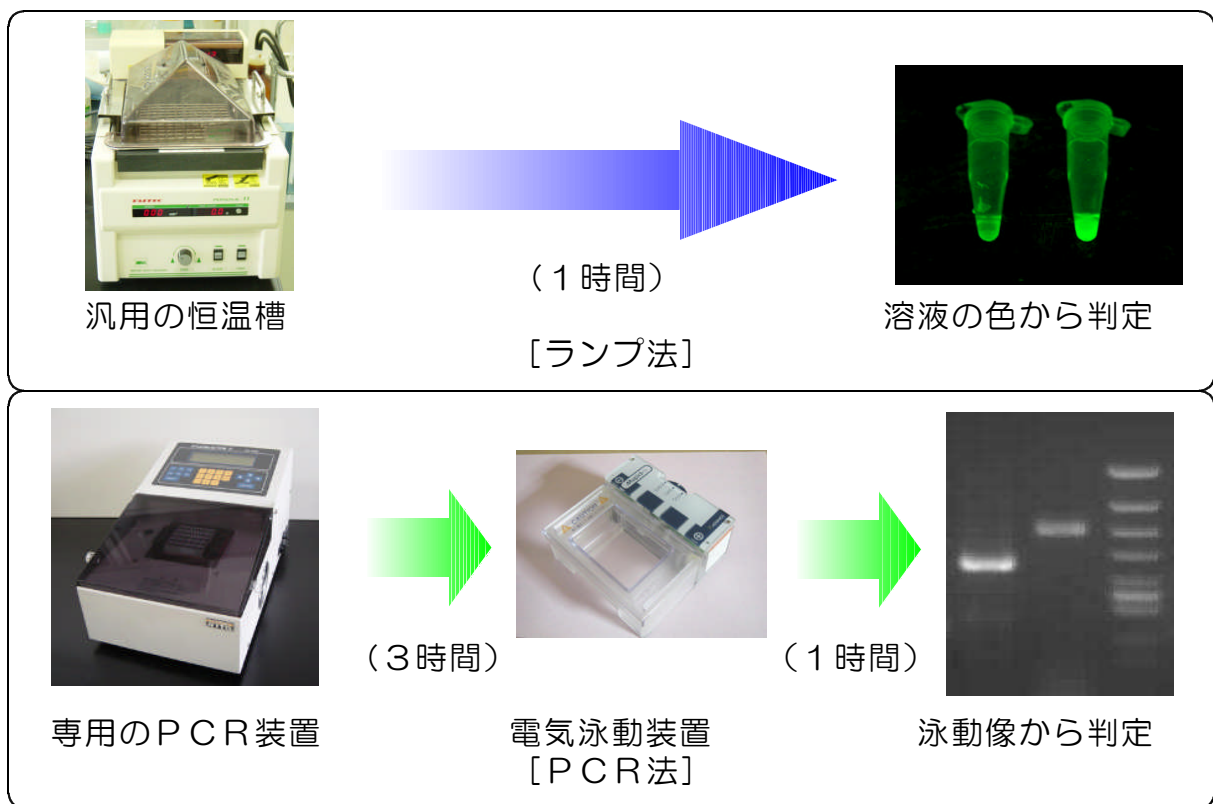


# 野菜・花のウイルスを手軽に検定！！

植物ウイルス病は、診断に手間取って対策が後手になりがちです。従来の方法（生物検定法や抗血清利用法）は労力や時間がかかるため、PCR法による迅速で的確なウイルス病の遺伝子診断法を開発しました。しかし、高価な専用の分析機器が必要である等、難点もありました。

そこで、新たに専用の分析機器を使わないで遺伝子診断が可能な手法（ランプ法）を開発し、作物病害、特にウイルス病を手軽に検定できるようにしました。

## ランプ法と従来のPCR法の比較



従来のPCR法では専用の装置を使い検定に約4時間かかりましたが、ランプ法では一般的な装置で約1時間で判定できます。



現在、問題となっている新しいウイルス病(MYSV,INSV,IYSV,TYLCV)を中心に埼玉県の主要作物に感染する代表的な14種類のウイルスについてウイルスに感染しているかどうかをランプ法で識別できるようになりました。

迅速、的確な診断によって、速やかな防除対策を提示することが可能でウイルス病のまん延、拡大を未然に防ぎ、被害を最小限に減らすことができます。

(農林総合研究センター 病害虫防除技術担当 TEL 0480-21-1114)